

成果指標				
成果指標	カーシェアリングの台数			
指標設定の考え方	カーシェアリングを計画的に行うことが、公用車の削減等につながり、しいては、庁用自動車等の効率的かつ経済的な配車、整備及び管理を行うことができる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標29年度
目標	9	11	13	30
実績	5	5	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>公用車カーシェアリングの台数確保については、他市の状況を参考とし現在計画中であり、平成29年度からの実施を目標としている。また、公用車運転中の事故を防止するため、交通安全法令講習会の積極的な開催やインフォメーション等を利用し、職員に安全運転を啓発しているが、今後も継続する必要がある。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>公用車の管理に関して、各課の業務に支障をきたすことのないよう、全体の適正数の確保に向けて管理していく必要がある。</p> <p>安全運転管理に関しては、職員ポータルサイトでのインフォメーションや部課長会を通じた注意喚起にも関わらず運転中の事故が多発した。公用車の安全運行実現に向けて効果的な施策を考え展開しなければならない。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	度重なる注意喚起にもかかわらず、公用車で事故が多発した。さらなる職員の指導徹底が必要である。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。